

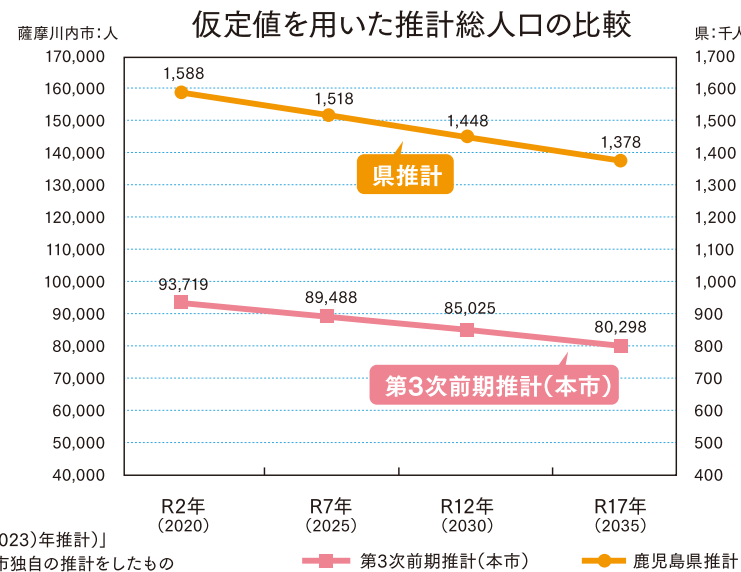
本市の人口の状況

本市の人口は、今後も緩やかに減少し続け、年齢別には15歳未満の年少人口、15歳以上65歳未満の生産年齢人口の割合が減少する一方で、65歳以上の老年人口の割合は一貫して増加し、令和17年には総人口が約8万人まで減少すると予測(※)されています。

※ 令和5年国立社会保障・人口問題研究所の試算による

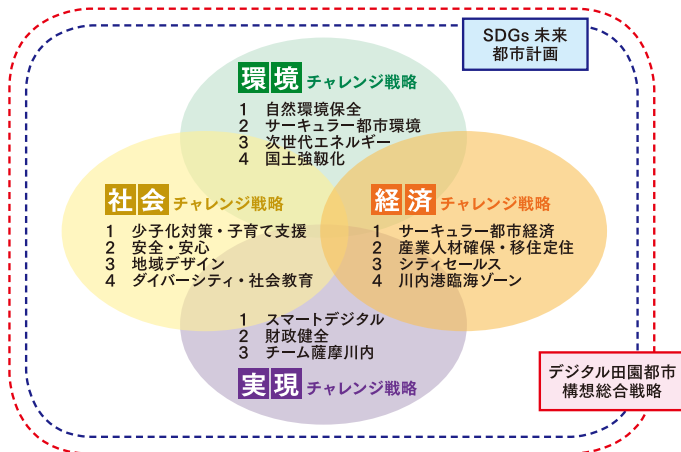
今後も地方への人の流れを創出するため、地域の個性を活かしながら取組を進める必要があります。

参考
県推計：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」
第3次前期推計(本市)：住民基本台帳人口を基にコーホート変化率法を用いて市独自の推計をしたもの



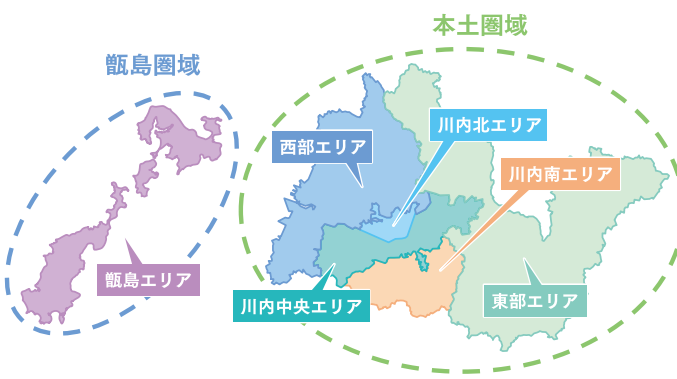
重点戦略プラン

重点戦略プランは、総合計画基本構想で示した6つの政策を横断し、重点的かつ戦略的に取り組む「社会」・「環境」・「経済」・「実現」の4つの戦略で構成します。



ゾーニングビジョン

住み慣れた地域に住み続けるために、地域ごとの異なる現状と課題を明確化し、特徴を捉えた施策を展開する必要があり、市域を2圏域・6エリア・13地域・48地区としてゾーニングします。



SDGs (持続可能な開発目標)



SDGs (エスディーゼーズ。Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された2030年を期限とする「持続可能な開発目標」のことで、17の目標から構成されています。

SDGsの理念については、本市総合計画で示す、目指すまちのイメージや未来のまちの姿、施策の方向性と重なるものであり、総合計画を推進することで、SDGs達成に向けた取組を推進することに繋がります。



薩摩川内 2034ビジョン

第3次 薩摩川内市総合計画 前期基本計画

2025・2029

概要版

人が繋がり 人が輝く
安らぎと賑わいのまち 薩摩川内



計画の位置付け

この計画は、薩摩川内市自治基本条例に基づく総合的な市政経営の指針を示す最上位計画として位置付け、長期的な展望に立ち、市民と本市がお互いを尊重しながら、それぞれの役割と責務を認識し、協働してまちづくりを進めるための計画とします。

計画の構成と期間

(1) 基本構想

本市が目指すべきまちのイメージや未来のまちの姿を定めるもので、令和7年度から令和16年度までの10年間の総合的な市政経営の指針となるものです。

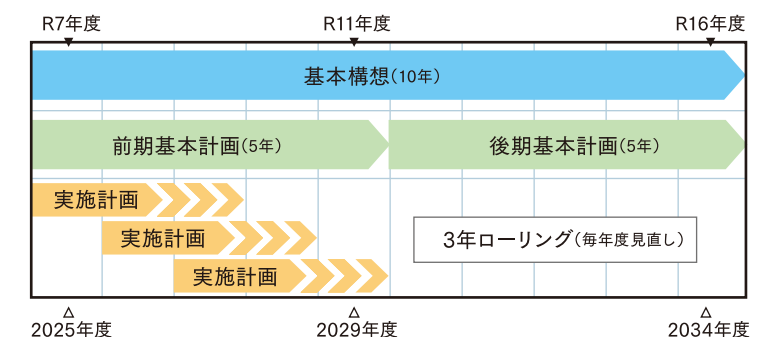
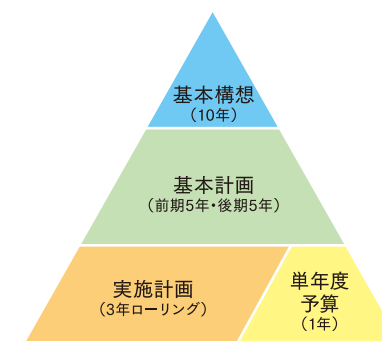
(2) 基本計画

基本構想を実現するため、政策の方向性や施策を体系的に示すものです。計画期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間を前期とし、令和12年度から令和16年度までの5年間を後期として設定します。

(3) 実施計画

基本計画に掲げた政策や施策に基づき、向こう3年間で取り組む事業を示したものです。

なお、実施計画については、ローリング方式により毎年度見直しを行います。令和7年度の計画は、「第3次薩摩川内市総合計画第1期実施計画(令和7年度～令和9年度)」とします。



政策体系図

